

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域作業療法学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学 期	前期	教室名	802
担 当 教 員	椿原一郎				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域病院で勤務。 血管疾患、整形疾患、呼吸疾患等の症例を幅広く経験 作業療法学(修士)				
《授業科目における学習内容》 この授業では、まずは「地域」についての理解から始め、各地域作業療法の特徴や諸制度の理解などの知識拡大につなげていきます。 また、地域で活躍する作業療法士に実践を伝えてもらいます 地域での作業療法について理解し、実践レベルでの作業療法を考察できる					
《成績評価の方法と基準》 定期試験 レポート 事前課題					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第4版					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》 制度など普段からの関りの乏しい内容も含まれます。事前に通読し準備しておいてください。 地域実習へ行く前の授業です。地域における作業療法士の役割についての理解を深めてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	地域リハビリテーション・地域作業療法での役割を説明できる 地域作業療法の実践の場を列挙することが出来る	地域作業療法学 第4版	教科書の通読 1章	
	各コマにおける授業予定	I 地域作業療法の基盤と背景 ①地域作業療法を考察する A 地域作業療法の概念 ②地域リハビリテーションの流れを捉える B 地域リハビリテーションの概念 III 地域作業療法の実践 ④地域作業療法の実践の場を知る			
第2回	授業を通じての到達目標	自分の地域の状況を調べることが出来る 地域における実践を知る	地域作業療法学 第4版	教科書の通読 1章	
	各コマにおける授業予定	見える化システムでの自分の地域を知る。 高齢化状況、要介護者数、単身世帯数、認知症世帯数			
第3回	授業を通じての到達目標	地域包括ケア会議・地域包括ケアシステムについて説明できる 介護保険制度・障害者総合支援法・介護予防事業について説明できる	地域作業療法学 第4版	厚生労働省のHPより地域包括ケアシステムについて調べる <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/huku-shi-kaigo/kaigo_koureisha/ch-iiki-houkatsu/">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/huku-shi-kaigo/kaigo_koureisha/ch-iiki-houkatsu/</a>	
	各コマにおける授業予定	II 地域作業療法を支える制度、社会生活支援・連携 ①-B 介護保険制度における作業療法士、C 障害者総合支援法における作業療法士 IV 地域作業療法の実践例 ⑦介護予防事業			
第4回	授業を通じての到達目標	地域作業療法・リハビリテーションに必要な評価を列挙・実践できる	地域作業療法学 第4版	教科書の通読 P.93～122	
	各コマにおける授業予定	III 地域作業療法の実践 ①地域作業療法の評価の視点、②住環境の改善からまちづくりへ			
第5回	授業を通じての到達目標	地域作業療法・リハビリテーションに必要な評価を列挙・実践できる	地域作業療法学 第4版	教科書の通読 P.176～298	
	各コマにおける授業予定	III 地域作業療法の実践例			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	地域作業療法・リハビリテーションに必要な評価を列挙・実践できる	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.176～298
	各コマにおける授業予定	Ⅲ 地域作業療法の実践例		
第7回	授業を通じての到達目標	デイサービスにおける作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.202～209
	各コマにおける授業予定	⑤ 通所介護施設(デイサービス) 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第8回	授業を通じての到達目標	訪問リハビリ・在宅(終末期)における作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.217～222 P.276～282
	各コマにおける授業予定	⑦ 訪問作業療法 ⑮ 在宅(終末期) 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第9回	授業を通じての到達目標	地域包括支援センターにおける作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.225～231
	各コマにおける授業予定	⑧ 地域包括支援センター 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第10回	授業を通じての到達目標	認知症支援における作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.270～275
	各コマにおける授業予定	⑭ 認知症支援 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第11回	授業を通じての到達目標	放課後等デイサービスにおける作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.283～289
	各コマにおける授業予定	⑯ 放課後等デイサービス 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第12回	授業を通じての到達目標	介護予防事業における作業療法実践(概要・評価・作業療法)を知る	地域作業療法学第4版	教科書の通読 P.290～298 P.46～55(介護保険)
	各コマにおける授業予定	⑰ 介護予防事業 臨床で働く作業療法士から実践を伝えます		
第13回	授業を通じての到達目標	事例報告(概要説明・作成)	地域作業療法学第4版	レポートの作成
	各コマにおける授業予定	疾患別症例をイメージして必要な社会資源・住宅環境について考え、必要な作業療法アプローチを考える		
第14回	授業を通じての到達目標	事例報告(発表①)	地域作業療法学第4版	レポートの作成と発表準備
	各コマにおける授業予定	疾患別症例をイメージして必要な社会資源・住宅環境について考え、必要な作業療法アプローチをグループで発表		
第15回	授業を通じての到達目標	事例報告(発表②)	地域作業療法学第4版	レポートの作成と発表準備
	各コマにおける授業予定	疾患別症例をイメージして必要な社会資源・住宅環境について考え、必要な作業療法アプローチをグループで発表したものをクラスで共有		